

ストライダーを ローラーペイントしよう!



足で地面を蹴って進む「ストライダー」が大人気。公園でちょっと目立ってみたいご両親とお子さんのために、デイトナ流「親バカカスタム」ワークショップが開かれた!

Photo & Text / Yoshiro YAMADA
STRIDER JAPAN www.strider.jp / ペイントファクトリー iwww.paint-factory.jp/

会場は
レインボー倉庫下北沢!



会場は、東京カルチャー発祥の地、下北沢の「レインボー倉庫」。いろんなワークショップが開かれる聖地。

水性塗料を使うので、匂いはほとんどしない。とっても安心なのである。お子さんと一緒にペイントカスタムを楽しむ時は、まずは安全第一。



ローラーでは塗りづらい箇所は、スポンジを使って塗料を置いておく。プロ直伝の裏技なのだ。



ママさんペインターも参加大歓迎。「工作なんて学生の時からです」なんておっしゃってはいらしたけど、実際に素晴らしい塗りあがり。素敵!



講師は工藤一広氏

ペインターの工藤氏といえば、所さんのサビサビペイント・マーチを塗った方。そんなプロ直々に、手取り足取りの指導をしてもらえるのだ。



ストライダー、流行ってます。歓声ひびく公園で。河原の広場で。子供たちのいるところ、ストライダーを見かけぬ日はない。果たして締め切り間近の編集部員も、ストライダーで逃避しようとする輩がいるのはまた別の話だが、とにかくその人気っぷりはすさまじい。なんたって、全世界で150万人以上のキッズに愛されているらしい。どおりで、公園もしくは広場もしくは深夜の編集部で、同じモデルに出会うワケだ……。となるとカスタム魂に火が付くのがデイトナの流儀。世界で一台のスペシャルモデルを作ってしまうという企画が急浮上。せっかくならば、講師を招いてご指導を頂こうという事になり、親バカカスタムのワークショップ開催と相成ったのだ。

ご参加いただいた皆さんには、愛車のストライダーをお持ちいただき、まずはパーツ単位に分解して準備万端。塗料を混ぜて好みの色を作り、ローラー片手にベタベタ塗りぬり。キッズたちはもちろん、中にはお子様そっこので夢中になっている方もいたみたいだが、それもまた親バカカスタムのお約束。塗って乾かし、あらかじめ用意されていたロゴを貼ってできあがり! 見事、世界にひとつのカスタム・ストライダーの完成である。

カッコいいストライダーに大興奮のキッズたち。その笑顔に癒やされるご両親。ストライダーが紡いだ共同作業で、楽しい家族の記憶がまたひとつ増えたよである。親子共々大満足のひとつときなであった。



鵜飼誠さんと RitZくん

モデルカーズ編集長・鵜飼誠も参戦!

凄腕モデラーにして元デイトナ編集部員の鵜飼誠氏も、家族と一緒に参加した。「塗料を混ぜて作った“色”は、息子のリッツに任せました。子供ならではの大胆さにハラハラしたけれど、とっても良い色。脱帽!」。



ツートンペイントの境目に、フリーハンドの筆塗りを施すモデラー鵜飼。「工藤さんに動んでもらってストライプを入れたら随分と綺麗でした。さすがです!」



一緒だからとっても楽しい!

バラして磨いてヌリヌリヌリ。お子さんと一緒に塗装作業は、想像以上に楽しかったみたい。「久しぶりの作業ですけど、子供と一緒にだと楽しいですね」。



柳澤広行さんと KANTAくん



進藤さん御一家と YAMATOくん



足利彰子さんと Yoshitsuguくん



石坂さんご一家と AKEMIちゃん



齋藤さんご一家と SOUGAくん



ストライダー・親バカカスタムコンテスト開催!

子どものために始めたストライダー・カスタムだったのに、パパがどんどんエスカレート。そんな「親バカカスタム」の写真を以下のメールアドレスまで送ってください。ナイスな一台は誌面に載るかも!?

応募期間: 7月3日(月)~8月1日(火)迄

応募方法

以下の項目にお答えいただき、カスタム画像を「info@strider.jp」までお送りください。

- ① 応募者さまのお名前
- ② お子さまのお名前
- ③ お子さまの年齢
- ④ カスタムしたきっかけを詳しく教えてください
- ⑤ カスタム・ストライダーの自慢ポイント

※応募いただいた画像は、Daytona誌面とSTRIDERの公式サイト等で発表させていただきます。



「木目」と「サビ」に挑戦!

ペイントファクトリー工藤さんの真骨頂といえば「エイジングペイント」。スポンジやローラーを使って、サビや木目を表現してみよう!

第3回開催予定日: 9月9日(土)
「木目塗装に挑戦!」

第4回開催予定日: 11月18日(土)
「サビ塗装にチャレンジ!」

※ストライダーのHPからご応募ください。



ペイントカスタム上級編 「サビ」と「木目」に挑戦!

子供達の笑い声と「ストライダー」。キッズ達の定番アイテムとなったストライダーを親子でペイントしちゃおう「親バカスタム」も上級編に突入。今回は、サビと木目に挑戦してみたのだ。

Photo & Text / Yoshiro YAMADA
STRIDER JAPAN www.strider.jp /
ペイントファクトリー iwwww.paint-factory.jp/

足で地面を蹴って進む「ストライダー」にカスタムペイントを施してしまう企画、誰が言ったか「親バカスタム」は言い得て妙。子供は勿論、パパとママが熱中してしまふ……と好評のペイント企画もとうとう大団円を迎えた。

最終回のワークショップでは、サビや木目に挑戦。その表現には、サビ色塗料をスポンジで描いたり、濃いめのサビペイントをスプレーの水圧で吹き飛ばしていくというモノ。見れば納得、プロだからこその「職人技」だが、その発想は常識に縛ら

れない自由な創造力が生んだモノ。そんな技術を目の当たりにした子供達の目の輝きが、このワークショップを通じて得られた「成長」であれば、親としてこんなに幸せな事は無いだろう。

そもそも、若干2歳から乗れるというのがストライダーの良いところ。運動による「体の成長」と、健全な心を養う教育的効果を、遊びながら体験できるのだ。さらに、「親バカスタム・ワークショップ」は、本格的な道具と塗料を使った「本気」の講座。楽しみながらも真剣に作業を進める中で、プロの技術を間近で見ることが出来、親子一緒に自分のストライダーを自由に塗ることが出来る。その中で、躊躇無く色を決めてしまったり、物怖じしないキッズたちの「思い切りの良さ」には感心させられるばかりである。先入観にとられない事無く、自分の感性を優先できるという、小さな芸術家の表現力は、大人顔負けなのだ。



「汚し塗装」で いろんなサビを

こちら、下地のペイントの上に、サビを表現する塗料を塗って「サビついた金属」を表現する。実際にサビている金属を観察しつつ、大胆に塗っていく。ホントに錆びているわけではないので、強度や安全面も問題なし。

ハードな「雨垂れ」系

薄めた塗料に強く水をスプレーして、雨垂れを描く。サビが、「上から下に向かって垂れている」のも再現できるのだ。



うっすらと赤サビを表現



明るめペイントの下から、少しだけ赤サビが顔を……な感じ。経年劣化していないステッカーのおかげで、ハードすぎないが良い。



スポンジで塗料をポンポンと置いていく。全体的に少しだけ腐食が始まっていて、フレームとなるチューブ上面のサビが多め……を再現。

お外にちょっと放置しちゃったストライダーを表現するようになる。ちょびっと浮いた赤サビがインダストリアル。



サビ表現にはこの塗料

DAGGER AGING COLORS (錆セット) 3694円
講師の工藤氏がプロデュースしたメイドin日本の「エイジングカラー」。所さんのサビサビマーチと同色もあるぞ。
<http://dagger.jp/>

まだまだあるぞカスタムペイント!



高橋さん
ご家族



小林さん
ご家族



中瀬さん
ご家族



マーブルも可愛い

「AIRI」ちゃん号は、明るいピンク色とホワイトが組み合わせられた「マーブル」。春が待ち遠しくなる可愛い姿に生まれ変わった。



筆塗りで木目を表現

薄めの色で塗った下地の上に、筆塗りで木目を再現していく。木目の方向を意識するとよりリアルに仕上がるかも。想定しているのは、「木製パーツを組み合わせて作ったストライダー」。接合部分をマスキングしてペイントするのだ。



木目に挑戦した
石井さんご家族



要するに「筆ムラ」を利用しての木目表現は、近目で見ても塗ったとは思えない仕上がりがぶり。大人っぽい完成したのだ。

リズミカルに筆を動かし、塗り重ねていく。「接ぎ木をしている」という箇所は、しっかりとマスキングテープで保護をする。

最新情報はコチラ

ストライダージャパン (豆魚雷) www.strider.jp/ 電話番号: 0120-211175